

「ほな、次いこかあ。

いんで、みよかあ

シリーズ vol 33

"Well now, to the next go now.

Let`s go there, don`t you!?"

series vol 33

うときゅう いっき

by Khazu san

物書き

うときゅういっき



目次 (Agenda)

-contents-

●本編掌編小説 1

(Japanese expression ver.)

「広告費」

(English expression ver.)

“The cost for ad”

●本編掌編小説 2

(Japanese expression ver.)

「我が國古来の佳きものを敢えて世界の先駆けた手本として宣伝するの巻」

(English expression ver.)

“A vol of ad concerning to ancient our country perspective superior announcing
for all over the world as a good sample for forecasting.”

●本編掌編小説 3

(Japanese expression ver.)

「怒り、骨髓に達す」

(English expression ver.)

“Full angry”

●著者プロフィール(Writer`s profile)

序

2022/8/30

芭蕉に倣う

On seeking for new way of little bit long Japanese “Haiku” style.



「芭蕉の俳句が手本。このコンセプトを活かし、今少しガイド的な言葉添えをした新しい表現形式が出来ないものか？」

本書はその訓練に掌編小説を原稿箋3枚以内で書き表すトライアル・シリーズで御座います。

本編

2025/5/28

28th May 25

(Japanese expression ver.)

「広告費」

(English expression ver.)

“The cost for ad”



(8years ago, for restaurant opening announcement, we printed fliers, but no provided, only meals for stock yard. Because I have disliked current type ad)

(Japanese expression ver.)

「広告費」

「世の中が混乱し、経済状態の悪い、こういう時期だからこそ、俺は広告を大々的にする」

「あれ？いつも言っている事と全然違うんじゃないの？真反対というか…」

「世に言う広告はしない。ネット広告とかチラシだとか新聞広告だとかは嫌いだから、しない。後で話すが、そんな迂遠で嘘八百ばかりこく様な真似をせずにもっとダイレクトに実利効果が発揮できるような嘘のない、やり方を選ぶ。

そもそも、その「迂遠な」方面への広告費はネットでの月額管理費 1795 円づつしか使っていないし、これからも増やすつもりは全くない。自分が一番だと「の給う」広告はスキ

じゃないかならな」

「じゃ、どうやって、どんな広告やんのよ？広告大嫌いなのに、大々的広告遣るなんて。しかももっとダイレクトな方法でって何ヨ？、アタイには、疑問が積み重なるばかりで、全然分らんわ」

「売値（うりね）はなかなか上げられない。インフレで仕入れ値はどんどん上がる。かといって素材の質を落としたり、量を減らしたり、料理工程をカットした手抜きなんかは、したくない。食い物屋として許せない」

「じゃあ、逃げ場がないじゃないのよ。其れに大々的に広告をするというのと、どう関係あんのよ？増々わからんわ」

「ある。それが品櫃維持と量を減らさない事や手抜きをしない事で起こる原価出ッぱり分を原価科目から広告費目に振替えるやり方だ」

「何のこと言ってんの？」

「詰まり売値一適正原価が適正利益だとすると、マイナスになった損益分だけ、広告費目に振り替えるのよ。会社全体としての損益の改善には全く寄与しないが、少なくともこの勘定科目を振った理由を聴けば、「小細工やごまかしをしない」料理人は常に質と量をコントロールしなくてはならないなどという料理以外の余計な小細工を気にせず、コック本来の職務に徹して、フルパワー全開で料理が出来、お客さんはソコソコのお金を払えば、裏切られることなく、いつもと同じ、まともなものが喰えるという店の経営理念維持と、従業員という人にせよお客さんという人にせよ、いづれ人を物事を中心に置くという「人本主義」実現の為の将来投資だと社内外対して明確な意思表示が出来るだろう？」

「ホント男って理屈好きよね。ご立派な理屈はいいんだけど、相変わらず「ひもじいお腹」抱えてることに何の変化もないじゃないのよ。女のアタイからすれば「バッカみたい」でしかないわよ。♪武士は喰わねど高楊枝♪なんて脳天気な事言ってるから世の中、お侍さんから商人にとってかわられたんじゃないのよ。いい加減学んだら？」

「拙者、♪士魂商才♪にてゴザル」

「懲りてない。アホクサ。♪疲れた（ちかれた）、ビ〜♪」

「♪がんバンビ〜♪、♪さの、ヨイヨイ♪」

(English expression ver.)

“The cost for ad”

“At the time of our human society it gets confused, gets economy condition bad. We are staying under term of thus, rather, me will invest money to ad, dynamic!!”

“What? It`s different from what you always says, perfectly opposite against your usual saying one or not? Why?, what happened?”

“I will never have done a usual standard ad, for example no on internet site ad, nor flier ad, TV on air ad, on news paper ad. I dislike them. Later I’ll explain, without taking thus roundabout and and, no hitting core point, decorative but contents zero type ad but bater, to for that more directly ad effects can appear, will prefer to select a way of without dummy faky one.

First, for roundabout, not hit the point, dummy faky ad we’ve spent only ¥ 1795/month and no intend to increase investment for thus ad. Because I don’t like ad which appeals I’m the top of tops.”

“Then a, how to and what kind of have done a ad? despite of disliking ad, however, will have done a dynamic ad, additionally by more directly effective way, how to do it? my questions add on and on only .perfectly no understandable.”

“It’s so difficult to retail price up, on the other hand oppositely from inflation, supplied material costs is getting so hi up day by day, however, don’t want to get quality down, amounts reducing, cooking way short cut, no hope. Because it’s a shame of restaurant.

“Then a, there is no place to escape or not? Addon, What kind of relation between your explaining above and your saying dynamic ad? more, more question is getting added.”

“It’s linked!! It’s the way of shifting from unit part of cost up to ad, a pat of cost up means that quality, amount keeping, cooking short cut rejecting.”

“What are you talking about it?”

“On summarized, to get setting tentative formula, retail price – justified cost = justified profit. Caused from cost up part, shifting from unit of cost to unit of ad.

Getting well for p/l of whole total company, no useful, but at least by it, and by in the case of hearing of our will, under our restaurant slogan “non dummy, non faky offering”, on cook side no need concern to controlling quality, amount level of offering dishes to keep under, like thus stupid sensitive matter, vasa versa cook can concentrate cooking itself only, with their full power using, and the other side customer can enjoy usual quality, amount dishes as usual in the case of spending usual the same price, thus our restaurant slogan keeping, And or the staff as a human or a customer also as a human, anyway human gets put on main center position called “human main perspective”, for realizing it, to future investment, we can announce it to our company inside, outside, to both sides. Don’t you think so?”

“Really, a man is a lover of logic. But it gets no changed “you are money poor condition standing”. From woman me perspective, it looks loke “Stupid” merely only. ♪Samurai in real is starving, but pretending to stuffed, outlooks.(=Japanese proverb)♪due to saying thus, during no noticing, main stream got changed from Samurai to Merchant. Little bit more learn about from it!!”

“I m.♪Samurai spirit, business man talent both mixed holder♪ type guy is!!“

“Oops, no noticing!! Dumbo!! 🎵tire, tore, tired!!🎵”

“🎵Hungry, angry, hang in there!!🎵hey, Everybody!!”

2025/5/31

31st May 25

(Japanese expression ver.)

「我が國古来の佳きものを敢えて世界の先駆けた
手本として宣伝するの巻」

(English expression ver.)

“A vol of ad concerning to ancient our country
perspective superior announcing for all over
the world as a good sample for forecasting.”



(Japanese expression ver.)

「我が國古来の佳きものを敢えて世界の先駆けた手本として宣伝するの巻」

「本日は、我が国を些か宣伝致す」

「ん？最近流行りの外国人のインバウンドとか日本人のアウトバウンド？何でも京都とか富士山に見える街では来日観光外人客が多すぎて公害レベルに迄なっているって言う話よ」

「チャウワイ。そんな観光の話ではなかとバツテンがサイ。我が国は少子高齢化、デフレの苦しみを世界に先駆けて経験した国でござス。そういう意味では世界の今後を考える上でのいい

サンプルではある。現に某国では必死にその研究をしたらしいが、いかんせん現役世代の不満解決に押されまくって、その研究の成果を出せないでいる様だ」

「じゃ、この国のアピール・ポイントはアニメの聖地とかラーメン文化とかの切り口？」

「うんにゃ。今日迫る切り口は、先ほどの世界に先駆けた少子高齢化、デフレの話などの反面教師的「しくじり先生」以外に佳い面もあったという切り口でごあんど」

「よ、出ました、ネトウヨ九州弁爺さん」

「そうやってすぐに右だの左だのと色分けするから話がしにくくなるのよ。それにしても我が国では、ネトウヨという言葉はあるが何で「ネトサヨ」という言葉がないんじゃ？逆に数が多すぎていちいち言っている暇がないから言わないだけなのかな？ネトウヨの方が圧倒的に数が少ないという事なのかな？欧米ではネトウヨ、ネトサヨが均衡しているから言わないだけなのかな？」

「しらんわ、そなん。SNS 各社のデータセンターにでも行って調べてきたらどないだす？旦那さん？ところで、今日の本題はどない話でおまんにゃ？」

「よくぞ聞いてくらはった」

「一応、定型的な礼儀だから」

「サンキュベラマッチョ！！」

「イヤミが通じない！！🎵蛙の面にション便🎵現象、減ずる事なくいつにも増して健在！！」

「その話というのは、先ほどの少子高齢化、デフレによる失われた 30 年等の、「しくじり先生」大活躍の話とは反対の話で

我が国国民の慎み深さ由来というより、単に気付いていないか間違っただけで受け止めている我が国の「気付かれざる佳き処」を紹介したいと思っておるのじゃ。今はダサイ、古色蒼然、アナクロの極致と全く反対に捉えられておる中身についてじゃ」

「天邪鬼気質（かたぎ）のお前さんらしいわね」

「うっせえ。黙って、取り敢えずは聴かんかい」

「へ、🎵お代官様🎵、然らば如何なる話で御座りましょうや？」

「ウム、🎵越後屋🎵もそうまで素直に訊くのであればこちらも素直に披露して進ぜよう。

欧米型は「短期。自己に対する評価アップ第一主義」で、古の我が国は「長期、人材育成型」

欧米は「効率重視」。我が国は「効果重視」。

欧米は「早く、早く、兎に角早く」で「数字が基準」

欧米は、個人主義、人類は万物の霊長。人の知力信奉でねじ伏せ、抑え込む剛腕、制服タイプ。無ければ作る、タイプでもある。

我が国は、人類も一生物に過ぎず、自然の力を借りなければなり行かぬという共生、循環タイプ。在る物を活かすタイプでもある。人力半分天の恵み半分で🎵人事を尽くして天命を待つ🎵や🎵時の熟するを待つ🎵で🎵待てば海路の日和あり🎵タイプ。

我が国は「気長に千三つ。千回やって三つ当たれば御の字」「気は心。何事につけ全ては気の持ちよう。の気が基準」でジョージ秋山作🎵浮浪雲🎵🎵はんなり、な草食タイプ🎵

此処までが古の我が国のスタンダード。

処が、或、敢えての誤訳から間違いが始まった。「マネージ」の元々の原義は「いざという時なんとかする」事を表す。

責任を部下に押し付けるのか責任を自ら負うのかくらい違ってしまった。反対になってしまった。

是が前述の欧米流「短期、自己に対する評価アップ第一主義」「効率重視」「早く直ぐに」と結びついたのが今の現代日本の大抵の会社だ。兎に角自分の事しか考えない。自分が評価される事しかしない。

其処に我が国固有の「完璧主義」が加わり、ノーマスで最高得点0の減点主義が蔓延。

とっかかりは、欧米流経営手法の導入で株主最優先になった事だ。会社業績が四半期に一度、株式市場での株価という形で評価されるようになったんだが、そこで会社経営幹部は常にイイ業績を出さなくてはならなくなった事による。

成果を短期間に出すスピードも求められる様になった。

兎に角スピード、一刻も速くいい結果、其れも百発百中のいい結果、失敗などあり得ない雰囲気の中で、いい結果だけを直ぐにも求める株主、是を別名、市場参加者とか投資家と呼んでいるが、彼らを最優先という事で、それが短期空売り筋のファンドであろうが、機械仕掛けの AI アルゴリズムであろうが、株保有期間 1 秒であろうが、お金の虫であろうが、機械であろうが、彼らから合格点を得るため、日々数字維持、達成にせつつかれる羽目になった。

仕事の評価対象もそう変わった事で、これが上から下まで会社ぐるみの不正を招く温床にもなっている。

そんな事情から、我が国では「マネジメント」と言えば上司が自分の思ったように、よりスピーディに駒を動かせる「管理」という訳語になってしまった。内向き罰則指向（付与）こそが上司の仕事だと勘違いされるようになった。

この様な下地で、チャレンジした結果、減点評価を得ると 10 年は冷や飯を食わされ、元のポジションに戻れないのが我が国の会社では一般的だから、若手に「冒険しろ」と言ったって怖くてできない。土台無理な要求だ。

要求をまともにするには「失敗しても何かに改善がみられれば、翌月からサラリーは元に戻る」というくらいしないとマトモな要求にはならない。

その不具合を我が国が世界に先んじて経験しているなら、そうではなかった古の我が国のモノの見方を今少し咀嚼して、世界に先駆け手本として紹介しても良いのではないかと思っておる。自分の事ばかりより他人の面倒を多少なりとも面倒を見た方が結果はむしろ佳いという事を世界に知らしめてもイイのではあるマイか？

アニメもラーメン文化も結構だが、こういったモノの見方を紹介するのもイイのではないかと思っておる。いくらそれ迄の情術に満ちた日本的慣習経営への反動ダカラかどうかかわからんが、何でもかんでも欧米のシステムを無考えに取り入れて味噌もくそも十把ひとからげ、一色単に

我が国の佳い処も、魔女狩りの様に血祭に挙げて、切り捨てすぎたのではなかろうか、と疑念を抱いておる、ワシは」

「切り捨ててイイのは ♪ 腐れ縁 ♪ と ♪ 自己中 ♪ だけってことかぁ…フムフム」

(English expression ver.)

“A vol of ad concerning to ancient our country perspective superior announcing for all over the world as a good sample for forecasting.”

“Today little bit I’ll ad about our country.”

“N? Nowadays influence the inbound by foreign tourists or the outbound by Japanese tourists, is it or not? TV news says in Japan famous sightseeing city “Kyoto” or nearby Mt. Fuji city somewhere has been so full occupied by foreign tourists, already almost flood disasters.”

“Non, no. It’s not that sightseeing matter!! Our country is a top experienced runner about few new-born, hi speedy aged generation up, and by deflation defeated. In this meaning, for getting information about on the future human society will happen, in our country happened previous samples is well information to future human society, I suppose.

In real, some country looked like to analyze on our country had happened the trouble issues, but to be pushed by unsatisfied people of the country, the complaining, the result of this analysis no got alive, I got heard of.”

“Then a, in this country appealing point is a sanctuary of “Manga” comics or “Ramen” culture and so on, like that?”

“Non, no. Today’s introducing in our country appealing point is unexpected other nice one which on opposite side of above minus imaginations, tendency of few new-born, hi speed aged generation up or pioneer of deflation.”

“Ax, on stage, right wing opinion holder on internet space, called in Japan “Neto- U-Yo” old guy!!”

“Like this, at once coloring or right wing guy or left wing guy, it might cause confusing.

But in our country, the word “Neto-U-Yo”(=right wing opinion holder on internet space) we easily can be seen, however, It’s difficult to be seen the word “Neto-Sayo”(=left wing opinion holder on internet space). “Neto-Sayo” quantity so many, then a, no saying it might be, vasa versa. In Western Europe, or in America, right and light, even equal, balanced, so that by any chance, no say it, An?”

“don’t know such!! Ask to each company SNS data center or not, is it useful or not? By the way, Hey you, Darling, Today’s your main which you want to insist the theme , what!?”

“Your question is just hit the point!!”

“It`s merely only normal formal, standard pattern question, asking only.”

“Great asking!!, Thank you so much!!”

“He passed my sarcasm!! He no hear of my sarcasm. He no understand my sarcasm!! 🎵 To frog face, piss s piss(=Japanese proverb) 🎵 phenomena, just more typically full open!!”

“The story is perfectly opposite nice face in our country, to which above I told black face side. It`s, rather than from tendency of our country people`s original hesitation, it`s merely only from our country people no noticing or misunderstanding, our country carrying well, good points, I hope to introduce to the world people today, I suppose.

Current now, recently, nowadays these points are counted as a “dumbo perspective”, “old-fashioned matter”, “super hyper ultra anachronism” like these perfectly opposite perspectives are counted, the ones.”

“Typical contrarian(=devil`s advocate)you, just fit episode.”

“Stop, noisy!! Keep silent, listen to me!!”

“Sure, Boss!! Then a, what kind of story?”

“Ok, Boy(=girl), then a, will explain to you, as a great service tip payment!!

Western Europe & US style is “(required result have to reach within) Short term. Within term to own evaluation up, the first ism”

Ancient our country style is “Long term. Term not get fixed, staffs growing up style.

Western Europe & US. style is the tendency of putting weight on a performance, our country is the tendency of putting weight on effect.

Western Europe & US. is “ first of all, fast, fast, quick, quick.”, base is on “numeral” anyway.

Western Europe & US. is individualism. “Human beings is standing on top of everything and can be controlling all” perspective carrying, from it, is likely to control all by human wisdom power. If nothing there, getting hoped one creating type.

On the other hand,

According to ancient our country perspective, the human beings is just one of the creatures (=animals), co-living, eco cycle type perspective. Recycle type also. Human/nature, 50:50

In Japanese proverbs 🎵 after to have done human side matter full, waiting for Heaven`s side go-sign. 🎵, 🎵 waiting for the timing 🎵, 🎵 in the case of waiting for, not getting in panic, ocean cruising nice day will come. 🎵 like thus,

In ancient our country, “waiting for, with relax mind, 1000 trials, max 3 hits is normal under this world,” “mind sense is all. How to set the mind sense, is making all conditions decided.”, thus the mind sense is the most important, the perspective.

Until above is ancient our country standard.

But on oppositely on purpose, from the word mistranslating, the wrong direction has started.

The word “manage” original meanings is “under the survival situation, to fold accident”

To push responsibility to staff or to owe on own back, responsibility, thus the difference might be stayed. Perfectly opposite.

Above this changed tendency gets linked one which is above on Western Europe & US. style

“Short term. Within term to own evaluation up” and “everything must be ASAP” culture is current now our country normal standard. Anyway “me first”, anyway, “evaluation to own, first” At there, our country proper “perfect-ism” added on, after it, “minus point ism which is that in the case of no-miss, the best score is point zero” got spread out and got fixed.

The trigger was that Western Europe & US. management style got introduced. From it, stock holder got turned to be first priority. It was the most impact trigger. Company performance got turned to be evaluated by market stock price on stock market is how much each quarter/year. At there executives of the companies got fallen into hitting good score of performance, due to it, in our country, above tendency happened.

Also got required speed which within short term get performance.

Anyway, hi performance, good result, at once. And hitting ratio 100% series. No miss, no failure “must”, miss, failure are no permitted even if once, inside around atmosphere thus jack knife stay always. Here called “market stock of the company holders” is, in the other words, called “market joiner, investor, anyway they are company`s first priority customers, even if the customer is or fund group or AI algorism or holding term is only 1 sec guy, or money hyena or AI machine, for getting good points from them, so that everyday they were falling into tracked by after numerals, or have to reach the numeral targets.

Due to got changed target of evaluation for jobs, from executives to staffs all company members get invited to touching evil matters recently.

From like above story, in our country, translating the word “manage” from original meaning “to fold accident from outside attacking” to “to control members inside company.”, the left is boss`s job, got have misunderstood.

Under thus above situation, as a result of challenge, in the case of getting given low evaluation, at least during 10 years ranked down position staying is typical general condition in our country company, so that even if boosted up saying to young staffs “challenge it!!”, it`s so scared that never can challenge. Under this system, it`s principally over requirement.

For improving requirement to reasonable, for example, even if failed, after it, on the staff improvement something be shown, salary base return to previous level from next month, at least unless like thus system establish, the requirement is reasonable less.

Like above badness, in the case of before other world countries experience, our country got experienced, we may introduce to the world about our ancient perspective before Western Europe & US. -nized, I supposed.

Helping and supporting others rather than own only cherishing might be inviting well result, the fact, about it, announcing, appearing to all over the world might be, I suppose.

Concerning to in our country, or “Manga”, or “Ramen culture” announcing , appearing is not so bad, but concerning to in our ancient country, thus perspective might be well, thus announcing, thus appearing, I suppose.

If it`s a over reaction against until that time Japanese custom style “emotional one”, vasa versa, I doubt it might be over reaction, which is without checking all accepting Western Europe & US. management system, like their servant, and over cutting off might be, despite of something is well custom like a “witch hunt”, I suppose.”

“What may be cut off is “dirty custom” and “me first anytime” only, …hm, hm.”

2025/6/1

1st June 25

(Japanese expression ver.)

「怒り、骨髓に達す」

(English expression ver.)

“Full angry”



(Japanese expression ver.)

「怒り、骨髓に達す」

「文法的に非の打ち処なく、正しい英語を使われても、話の中身がないこと程イヤミな事はない。

同様に同国人で同じ言語を話しているのに、言語は分かるが気持ちがまるで通じないこと程虚しい事もない。

広告でも、分かり易いには分かり易いが、中身の無いこと程、腹立たしい事はない」

「で、怒ってる訳？」

「その通りだ。悪いか？」

「うんにゃ。もう、謂わせるだけ言わせるしかないみたいね。お前さんて言いだしたら利かないんだから…ガキンチョみたいね。♪ポホロ・ママ、困っちゃう〜♪

人間て、貧乏とかでお腹がすくと怒りっぽくなるのよね。怒ると思ってもかけないバカ力、出たりするのよね。思ってもかけないバカ力で、思っても掛けない事、やってのけちゃったりするのよね」

(English expression ver.)

“Full angry”

“As a English grammar, perfectly no miss correct one used, but contents perfectly pale, the case, it is just sarcasm itself.

As a same pattern, the same Japanese people, the same language Japanese, despite of no communicating to each other is perfectly vacant.

Also as a same pattern, in the case of on ad, despite of easily understandable, easily memorizing, but contents is faky, to it. cause me angry!!”

“From it, you get angry?”

“Exactly!! Is it bad behavior?”

“Non, no. You are like a kid. Never can stop you!! Mom, me, no option!!

While human hungry for example from money poor, easily gets angry. To get angry, sometime, why some causes miracle power. And by this miracle power, sometimes will have done miracle , sometimes or not? ”

著者プロフィール) Writer`s profile.

うときゅう いっき(writer`s name utokyu ikki or Khazu san)

本名 宇都宮一貴 (うつのみや かずたか)

1953 年東京生まれ(was born in 1953 in Japan.)

早稲田大学第 1 文学部露文学科を 2 回留年の後、卒業。

国内電機メーカー家電製品商品企画部に 20 年間勤務。同子会社経理部等に 16 年間勤務。

40 歳から 52 歳まで 12 年間うつ病を罹患。

左遷、リストラ、降格、離婚、家族崩壊等を経験。

定年後、株式会社 うと Q を設立 (After retirement from Toshiba, established, “utokyu corporation” in 2014)

現在主業はネパールカレー屋。(Now main business Nepali curry restaurant, “Namaste everybody” owner)

趣味は観察すること、考えること、書くこと、盗撮はしないスマホ・カメラの四つの k。

著者名は苗字、宇都宮一貴の音読みで、中学校時代の仇名。

宇宙の「う」

東京都の「と」

宮殿の「きゅう」

数字の「いち」を詰まり音便で「いっ」

貴族の「き」

で、うときゅういっき となります。

漢字表記にしますと、かなり御大層な人物に見え、実態に全くそぐっておりませんので、誤解を招かぬよう音読みひらがなで表記しております。

ホームページ：<http://utokyu.co.jp>

(出版情報)

著 者 うときゅういっき

発行人 宇都宮一貴

発行所：株式会社 うと Q ナマステ別館堂出版部

〒215-0018

神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5 丁目 3 4 番 7 号

電話 (phone)：044 - 989 - 1698

発 売 株式会社 うと Q ナマステ別館堂出版部

編 輯 しばらくの期間「ナマステ別館堂出版部」

カバーデザイン & DTP 製作 当面の間「ナマステ別館堂出版部」及び「ナレッジフォレスト 大竹鉄哉」

©Kazutaka Utsunomiya uploaded in Japan from 2020

発行日：2025/6/1 日初版発行 (1st June 25 released.)

本書の一部または全部について、著作権上、著作権者の承認を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。All cory rights reserved.

(その他著書)

●多数

●尚、掲載写真は全て google 画像サイトの著作権フリーのものをダウンロードして使用しております。当社には著作権、版權は全くない事を明記させて戴きます。